

5月に入って2度目の臨時議会が、29日に開かれ、市長など常勤の特別職、市議会議員、市職員の夏季一時金を引き下げる条例改正が行われました。人事院勧告に基づく引下げですが、市職員給の引下げは、民間中小企業や最低賃金にも影響を与えます。賃金引下げを加速させることにつながりかねない内容と考え、党市議団は職員給の引下げ議案のみ反対しました。川村議員の行った反対討論を掲載します。

本義案は、5月1日に
なされた人事院勧告に準
じて、市職員の夏季一時
金を引き下げるものです。

公務員の賃金は、前年
冬と当年夏の民間の支給
額を調べ、8月に人事院
が勧告する仕組みになっ
ています。そうした調査
を踏まえて勧告を行う仕
組みですから、もともと
夏の一時金支給には間に
合わないため、年末一時
金に反映されており、時
間差はあっても全体とし
ては水準調整が行われる
仕組みです。それを無視
して、前倒しで削減する

民間の一時金削減が相
次いだため、公務員の夏
季一時金も削減しようと
いうことですが、そうし
た一時金カットを与党が
求め、その政治的圧力に
屈して人事院が提案する
というありようは、労働
基本権がはく奪されてい
る代償機関の役割を投げ
捨てる姿勢だと批判をし
ておきます。

懸念されるのは、公務
員の一時金削減が、民間
中小企業の賃金にも影響
し、さらに、審議が始ま

る地域別最低賃金改定に
も減額圧力を働かせるこ
とです。

未曾有の経済危機と言
われる中、国内需要をど
う暖めてゆくのかが大き
な課題となっていますが、
そうした背景の中、可処分
所得の減少圧力を高め
ることにつながる行為を
し、一方で景気対策だと
言って大規模な補正予算
に取組むというのは政策
的にも矛盾していると指
摘しなければなりません。

公務員労働基本権の代
償機関である役割を投げ
捨てるものだとしたこと。
内需拡大に結びつかず、
むしろそれに逆行する内
容であること。

2点を指摘して、反対
討論といたします。



5月29日臨時議会 賛否の分かれた議案などに対する各議員の態度

議案などの名称	会派	日本共産党		市民まちづくりネット					新成クラブ			政新あさひ			公明党		草莽崛起改革クラブ									
	議員名	川村剛	塚本美幸	大島もえ	楠木千代子	篠田一彦	花井守行	早川八郎	牧野一吉	水野義則	赤尾勝男	※谷口マスラオ	原淳磨	森和実	若杉たかし	相羽晴光	伊藤憲男	岩橋盛文	斉場洋治	伊藤恵理子	片渕卓三	丹羽栄子	坂江章演	森下政己	山下幹雄	
第46号議案 市職員給与に関する条例の一部改正		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ×：反対

※議長は採決に加わりません。

市議会の会派構成が 変わりました

上の賛否の表を見て、お気づきの方も見えるかもしれませんが、市議会の会派構成が変わりました。

これまで「政新あさひ」の所属だった、坂江、森下の2氏が「草莽崛起」に移籍し、会派名も「草莽崛起改革クラブ」となりました。

29日の中日新聞では、取材を受けた坂江氏が「議員の役割や政策に対する考え方の違いが大きくなった」と説明しています。5月15日の臨時議会で行われた議長選挙の際、無効票が出たことで、市幹部や議会関係者の間では、議会人事をめぐっての、保守系会派の亀裂がささやかれており、それが表面化したという見方もあります。会派の移籍は、5月28日に届け出られ、受理されています。

前号の旭民報で、議会人事についてお知らせしましたが、2氏移籍の影響で、来週にも各議員が所属する常任委員会が例外的に調整・変更される見通しです。